

新見市 姉妹都市 アメリカ ニューパルツヴィレッジ 公式訪問報告書



令和6（2024）年5月12日（日）～17日（金）

新見市

1 訪問目的・概要等

（１）経過

アメリカ・ニューヨーク州ニューパルツヴィレッジとは、旧大佐町時代の平成１０（１９９８）年１０月に姉妹都市協定を締結し、平成１７（２００５）年の市町合併以降は、現在の新見市として、学生・市民の派遣を中心に交流を重ねてきました。

令和５（２０２３）年１０月には、協定締結２５周年を記念し、新見市国際交流協会が、写真展・記念式典を開催しました。式典には、当時のニューパルツ国際交流協会デιβ・カッカモ会長らが出席され、コロナ禍で見送られていた直接訪問を含む交流の再開となりました。また、同月にはニューパルツ市長のティム・ロジャース氏をご家族らと来新されました。

その後１１月に、ロジャース市長とブランドン・ベラ新会長から戎斉市長宛に、ニューパルツへの招待状をいただき、今回の訪問が実現しました。

（２）訪問目的

姉妹都市協定を締結し、交流を始めてからは、中学生同士の交流や新見公立大学のアメリカ研修等が盛んに行われていましたが、新型コロナによる行動制限以降は交流を休止していました。

今回の公式訪問により、コロナ禍で停滞した交流を再開させるとともに、これまで行っていなかった高校同士の交流等、新たな交流を作り出すことを目的としていました。

（３）アメリカ・ニューパルツヴィレッジの概要

〈人口〉 ７，３２４人（２０２０年）

〈面積〉 ４．６６平方キロメートル

〈市長〉 ティム・ロジャース市長

〈概要〉 ニューヨーク市中心から北へ約１２０キロメートルに位置しています。

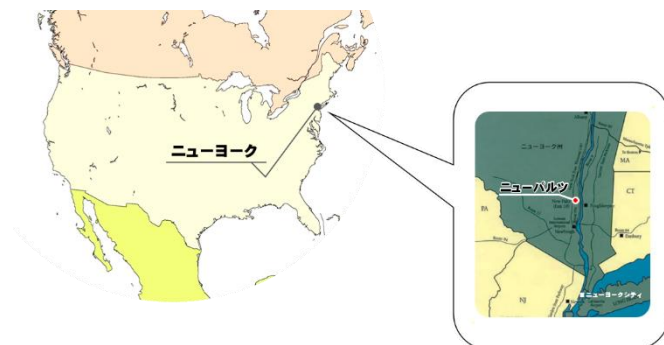
ニューパルツは１６７８年に誕生し、ハドソン渓谷の自然豊かな環境を生かした農業・観光

都市で、ニューヨーク州立大学ニューパルツ校があり、学園都市としても発展しています。

〈姉妹都市縁組締結日〉 平成１０（１９９８）年１０月９日旧大佐町と締結

平成２２（２０１０）年１１月１日新見市と再調印

〈ニューパルツヴィレッジの位置〉



2 訪問行程等

令和6年5月12日（日）から17日（金）まで（6日間）

日にち	訪問地等	内容
日本時間 5/12(日)	新見市出発 岡山空港から羽田空港 羽田空港からジョン・F・ケネディ国際空港	
現地時間 5/12(日)	ジョン・F・ケネディ国際空港 到着 ニューパルツ内ホテルへ	
5/13(月)	ヴィレッジホール エルティング共同墓地 ニューパルツミドルスクール ニューヨーク州立大学ニューパルツ校 デイブ・カッカモ前会長宅 改革派教会	ロジャース市長と会談、市旗贈呈、旧消防署、 モニュメント視察 記念植樹 グラットー教育長、シェルドン校長と会談、校内見学 大学教職員と会談、校内見学 歓迎会、友好協定確認書の署名
5/14(火)	新消防署 ロータリークラブ会員宅 ニューパルツハイスクール エルティング記念図書館	内部見学 義援金の御礼 シムズ校長と会談、校内見学 送別会
5/15(水)	ニューパルツを出発 ジョン・F・ケネディ国際空港から羽田空港	
日本時間 5/17(金)	羽田空港から岡山空港へ 新見市到着	

3 公式訪問団 6名

戎 斉 市長、榎 日出男 議長、正村 政則 教育長、砂田 晃洋 新見市国際交流協会会長、
山内 圭 新見市国際交流協会アメリカ班班長、西川 康裕 生涯学習課主幹

4 訪問の行程とその概要

〈1日目〉5月12日（日）

岡山空港から羽田空港で乗り継ぎ、ジョン・F・ケネディ国際空港へ（空路約13時間）移動しました。

〈2日目〉5月12日（日）（現地時間）

ニューヨークのジョン・F・ケネディ国際空港に到着、専用車でニューパルツヴィレッジへ移動しました。宿泊先ホテルにて、ティム・ロジャース市長とご家族、ブランドン・ベラニューパルツ国際交流協会会長、イーサン・トレス副会長の出迎えを受けました。



（左から2番目から）トレス副会長、ベラ会長、ロジャース市長とご家族

〈3日目〉5月13日（月）

■ニューパルツヴィレッジホール（市庁舎）

ヴィレッジホールを訪問し、ロジャース市長に新見市の市旗を贈呈しました。



（右から2番目）ニューパルツ国際交流協会のスー・シャパーンさん



ロジャース市長に市旗を贈呈

■旧消防署

ヴィレッジホールの裏手にある旧消防署を訪れました。令和3（2021）年4月に行われたオンラインミーティングにおいて、それぞれに消防署の建て替えを計画しているということが話題の一つになりました。

ロジャース市長も令和5（2023）年10月に新見市を訪れた際に、新見市の消防署を見学されています。



旧消防署の器具庫

■モニュメント〈御洞溪谷〉

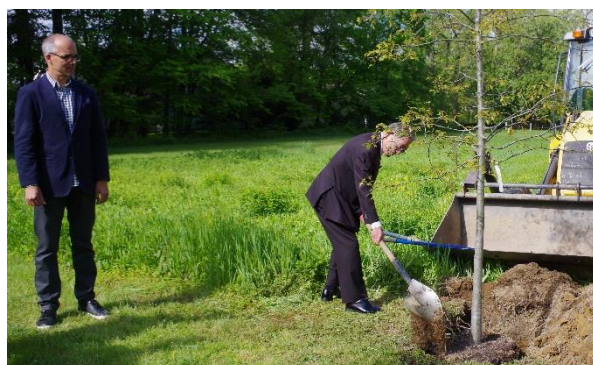
ヴィレッジホールからほど近いピースパーク内にあるモニュメント〈御洞溪谷〉を訪れました。〈御洞溪谷〉は平成15（2003）年に、新見公立大学の金山和彦先生が友好のモニュメントとして作製しました。



モニュメント〈御洞溪谷〉

■エルティン共同墓地で記念植樹

ヴィレッジが管理する共同墓地の一面に、訪問団とロジャース市長、ベラ会長、トレス副会長、シャバーン氏の全員でコナラ（Pin Oak）を植樹しました。



■ニューパルツミドルスクール

ニューパルツミドルスクールを訪問し、スティーブン・グラットー教育長、アン・シェルドン校長と会談を行いました。会談では、これまで両市が行ってきた子ども達の派遣事業について振り返り、今後の子ども達の派遣や受入について、詳細な時期等については協議を行っていくことが確認されました。

その後は、授業の様子や体育館等の施設を見学しました。ニューパルツミドルスクールは、6年生から8年生（11歳から14歳）までの500人以上の生徒がおり、基礎的な教科のほかに音楽や芸術、技術に関する教育に力を入れているとのこと。



（左から）シェルドン校長、グラットー教育長



関数電卓を使った授業が行われていた



体育館を見学

■ニューヨーク州立大学ニューパルツ校

ニューヨーク州立大学ニューパルツ校を訪問し、ベス・バルガス 国際交流局局长、ネイサン・クレリチ 日本語プログラムコーディネーター、シマダ アキラ アジアンスタディーズプログラムディレクターと会談を行いました。

これまで、ニューパルツ校は新見公立大学と交流があり、主に看護や福祉の分野を



（右から）シマダ ディレクター、クレリチ コーディネーター、バルガス局長

学ぶ学生同士が研修を行っていました。山内班長は、平成14（2002）年から同28（2016）年まで、公立大学のアメリカ研修を担当しており、ニューパルツ校に10回訪れています。バルガス局長によると、ニューパルツ校にあった看護学科は、現在ほかのキャンパスへ移転しているが、保育に関する分野を学ぶ学生はいるので、そういったコミュニティを含めて、様々な形で教育交流を期待したいと述べました。

その後、ニューパルツ校の教員であるベラ会長の案内で、実験室等を見学しました。ここで、ロジャース市長の父、エド・ロジャース氏が訪問団と合流しました。エド氏は、平成22（2010）年に新見市・ニューパルツヴィレッジの協定再締結調印時に来新したり、新見市からの訪問者をホストファミリーとして受け入れたり、積極的に交流に関わっています。また、令和4（2022）年から同5（2023）年まで新見市でALTとして勤務していた、ビンチェンゾ・アゴスタロ氏とデイビッド・ウエルタ氏もかけつけ、再会を喜びました。



エド・ロジャース氏(右)



(左から)ウエルタ氏、アゴスタロ氏

■デιβ・カッカモ氏宅

ニューパルツ国際交流協会前会長であるデιβ・カッカモ氏の自宅を訪問しました。カッカモ氏は平成17（2005）年ごろから姉妹都市間の交流に参加され、平成20（2008）年から令和5（2023）年10月までのおよそ15年間にわたって、ニューパルツ国際交流協会会長を務められました。カッカモ氏は、日本の文化、特に庭園について興味を持ち、自宅や庭を自ら日本風に改装しています。ピースパーク内にあるモニュメント〈御洞溪谷〉の周辺の石庭整備についてもカッカモ氏が担当されました。

また、クレイグ・シャンクルズ氏も同席されました。シャンクルズ氏は芸術家で、平成15（2003）年には大佐山に「ニューパルツ交流の森モニュメント」を制作されています。



(左から)クレイグ・シャンクルズ氏、デιβ・カッカモ氏

■改革派教会で歓迎会

改革派教会で訪問団の歓迎会が行われました。この歓迎会で、戎市長とロジャース市長が「姉妹都市縁組締結に関する協定確認書」を交わし、姉妹都市縁組を締結して25周年を迎えた両市の、将来にわたる変わらぬ信頼関係を確認しました。

また、歓迎会の参加者がソフトボールにサインをし、両市で3つずつ分け合い記念としました。



「姉妹都市縁組締結に関する協定確認書」を交わす両市長



ソフトボールにサインし交換



歓迎のケーキを準備していただきました



新見市・ニューパルツ・ヴィレッジ

姉妹都市縁組締結に関する協定確認書

日本国岡山県大佐町とアメリカ合衆国ニューヨーク州ニューパルツ・ヴィレッジは、1998年10月9日に姉妹都市縁組を締結、市町村合併後、岡山県新見市とニューパルツ・ヴィレッジは2010年11月1日に姉妹都市縁組を締結した。2023年10月8日、姉妹都市縁組締結25周年記念式典を執り行い、これまでの交流を通して積み上げてきた両自治体の信頼関係を確認した。

両自治体は今後も、文化、教育、スポーツ、経済、観光など幅広い分野での交流と協力を行い、友好関係を将来に亘って進展させることを誓い、その証としてこの協定確認書に署名する。

2024年5月13日

戎 斉

新見市長

戎 斉

ニューパルツ・ヴィレッジ市長

ティム・ロジャース

〈４日目〉５月１４日（火）

■新消防署

ヴィレッジホールや旧消防署から約２．３キロメートル離れた場所に、新消防署があります。視察では、手狭だった緊急車両の駐車スペースが広がったことや、建物自体が環境に配慮した持続可能なエネルギーを使用する設計で作られていることが説明されました。また、日本と異なり、消防とレスキューは部門が分かれているとのことでした。



新消防署は、大きな緊急用車両を余裕をもって格納できる

■ニューパルツロータリークラブ

平成３０（２０１８）年７月の西日本豪雨の際に、ニューパルツロータリークラブから義援金をいただきました。

ニューパルツロータリークラブのジェラルディン・ケリー宅を訪ね、キャシー・シフレ会長にお礼の言葉を伝えました。

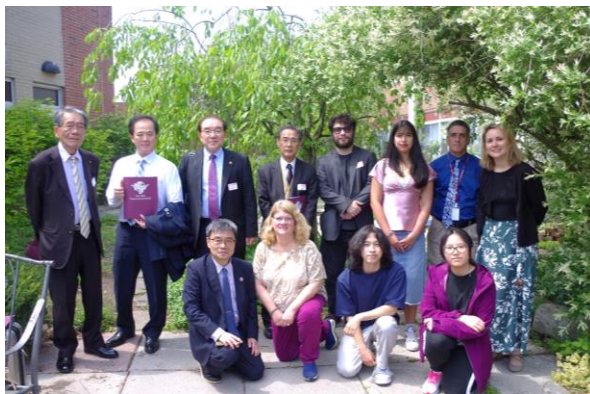


（左）キャシー・シフレ会長

■ニューパルツハイスクール

ニューパルツハイスクールはニューパルツで唯一の高校で、９年生から１２年生（１５歳から１８歳）までの生徒約７００人が通っています。校内には音楽ホールやジムなどが設置され、芸術や音楽、技術系の科目を学ぶための充実した設備が整っています。

訪問団は、アジア文化クラブの生徒の皆さんに迎えられ、校内を見学しました。中庭には平成20(2008)年の姉妹都市縁組締結10周年の友好の木があり、元高校教員のシャバーン氏の設置したプレートも見ることができました。



友好の木の前で、(後列右)シムズ校長



友好の木のパネル

また、サミュエリ・シムズ校長と会談し、ハイスクールには1年間の留学プログラム等を利用し、様々な国から留学生が来ていることや、芸術系や技術系の授業の方が言葉の問題をクリアできるので、そういったカリキュラムに参加する方法があると説明がありました。また、ニューパルツヴィレッジ内にある系列校で、工業・技術・経済・医療・航空など多岐にわたる職業訓練を行う学校があるので、そこで日本の学校との違いを学ぶことも提案されました。



(中央)シムズ校長

■エルティング記念図書館で送別会

会場にはロジャース市長をはじめ、これまでの交流に関わりのある多くの市民や、日本に興味を持っている市民が若い世代を中心に集まりました。

送別会では、芸術家のクレイグ・シャンクルズ氏から、新見市とニューパルツヴィレッジの市章を組み合わせたパネルをいただきました。シャンクルズ氏は平成15（2003）年10月、ニューパルツ芸術交流団として訪問し、大佐山大日高原に「ニューパルツ交流の森モニュメント」を制作され、以降芸術活動を中心に交流に参加しています。



エルティング記念図書館に集まった皆さん



平成 15(2003)年のモニュメント除幕式

会場となったエルティング記念図書館には、両市のこれまでの交流の様子が分かる写真や書籍等が保存されています。



(左)日本語の昔話や文化についての書籍が保存されている

(右)旧大佐町時代からの交流の様子が分かる写真や手紙

また、スー・シャバーン氏からは絵本2冊をいただきました。“Who Sees Who at the Zoo?” は、シャバーン氏のお婆のパトリシア・レイシー氏の作品で、新見市の子供達に楽しんでほしいとメッセージをつけていただきました。“WHOO-KU HAIKU” は、本文を音読すると五七五のリズムになるように書かれているもので、こういった書き方は、日本の俳句になぞらえて HAIKU と呼ばれ親しまれているとのことでした。



シャバーン氏からいただいた2冊の絵本は中央図書館で読むことができます



(右から)25年前に ALT として新見市で勤めていたデイビッド・パルミター氏とご家族



(左から)デイブ・カッカモ ニューパルツ国際交流協会前会長、ロジャース市長とそのご家族

〈5日目〉5月15日（水）

全ての行程を終え、ニューパルツヴィレッジからジョン・F・ケネディ国際空港へ移動の後、ジョン・F・ケネディ国際空港から羽田空港へ（空路約14時間）移動しました。

〈6日目〉5月17日（金）（日本時間）

羽田空港から岡山空港へ乗り継ぎ、新見市へ帰着しました。